



文部科学大臣賞(1件)

文部科学大臣賞 「個人・グループ・学校」分野

受賞者名

福山市立新市小学校

取組の実践場所

広島県福山市

受賞テーマ

「ひと・もの・こと」とかかわり合う中で、自分のよさを輝かせる子どもの育成をテーマとした学校・家庭・地域・行政が協働した3R活動

受賞者は、福山市環境学習推進校として「ひと・もの・こと」とかかわり合う中で、自分のよさを輝かせる子どもの育成をテーマに、学校だけでなく、家庭・地域・行政が協働して環境学習を進めている。

地域の方々とのコミュニケーションである「ひと」とのかかわり、野菜・花等の栽培等の「もの」とのかかわり、備後餅の伝統の継承等の「こと」とのかかわりの3つを通し環境とかかわっていくなかで、自分のよさを育む取組を進めている。

〈教科書にも未来がR（アール）プロジェクト〉

これまで同校では、長年にわたりPTAと協賛して、アルミ缶・段ボール・新聞紙・雑誌の回収を行っている。昨年度、福山市廃棄物対策課より、教科書リサイクルを施行したいとの申し出があり、PTAとの連携のもと教科書リサイクルを実施した。



年度初めの1か月間、児童が登校時に使っていない教科書やドリル・ワーク・ノート類を持参し、校内に設置したコンテナに入れて保管している。

回収した教科書類は、古紙リサイクル業者が収集して資源化した。この取組は、テレビ放送され、教科書リサイクルの県全体への広報活動につながった。



〈トレイ・ペットボトルのリサイクル活動〜ふくやまエコトリアスロンへの参加〉

福山市が取り組んでいる「ふくやまエコトリアスロン」に全校児童が参加し、トレイとペットボトルの回収活動を毎週金曜日に行っている。トレイやペットボトルを回収することでリサイクルへの意識が高まった。また、地域・PTAによる資源回収を年2回実施し、地域をあげてのリサイクル活動に取り組んでいる。



児童朝会で回収したトレイやペットボトルの量の紹介やさらなる回収を呼びかけたり、地域の健康福祉祭りでリサイクル活動の様子を発表したりした。こうしたリサイクル活動の様子を新聞の地方ミニコミ誌で紹介してもらうことで、リサイクルについての地域啓発を行った。

〈緑のカーテンによるエネルギー節約〉

各学年でゴーヤ、あさがお、ふうせんかずらなどの植物を植え、校舎に「緑のカーテン」「緑のお迎えトンネル」を作った。

「緑のカーテン」の取組を通して冷房機器を使わない自然の涼しさを感じるとともに、エネルギーを節約するために、自分たちができることは何なのかということについて児童が考える機会となった。



〈備後餅を使った製品づくり〉

地元の伝統的な産業である備後餅をPRするために、備後餅をあまり知らない若い世代の人に日常的に使ってもらえるように地域の住民から提供された餅のはぎれでティッシュケースやしおり、お手玉などを作り地域の祭りで販売した。餅を広めるための活動を通して資源を有効利用することの大切さを児童が改めて感じる機会となった。

